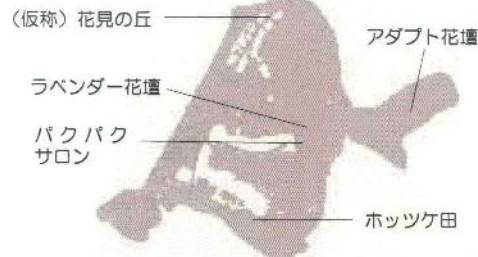


2004年6月号

古河総合公園だより

発行日：2004年6月10日 編集：古河総合公園パークマスター 発行者：(財)古河市民公社
住所：〒306-0041 古河市鴻巣 399-1 古河総合公園管理棟 E-mail: iwahori@city.koga.ibaraki.jp



☀️ 5月29日(土)

みどり遊びの会

ホッツケ田の田植えとドジョウつかみの会



昔の御所沼では、水辺に細々と稲を育てて、ホッツケ田と言いました。小学生低学年を持つ親子連れ総勢100名程で、3m×5m程の田んぼ3面を植えました。「ぬるぬるして気持ちいい〜」「足がぬけないよ〜」「お母さん、ドジョウ食べた〜い」。収穫は9月末頃。

☀️ 6月3日(木)

園路入り口付近・管理棟前の花桶

マリーゴールド花壇づくり



古河くらしの会のみなさんが、大切に育てたマリーゴールドの苗500株程を植えて下さいました。

6月初旬

ステキな名前付けてネ!

すっきりして再登場 (仮称)花見の丘

☀️ 5月29日(土)

メリナ・メルクーリ通り

アダプトプログラム 夏の花壇づくり



サルビア、マリーゴールドなど花の苗は古河第四小学校で育てました。主催/地球環境課



キンモクセイとヤブツバキに覆われて鬱そうとしていた丘。間伐して、下枝を下ろして、木陰の気持ち良い丘へリニューアル。花桃林、花菖蒲田、大賀蓮池をちょっと上から眺めることのできる人気スポットになりそう。

◆ 古河総合公園 花ファイル NO.40 ◆

●ネム/キ●

[科名] マメ科、落葉高木

[樹高] 6~10m程

[花] 淡い赤色

[花期] 6~7月

葉は、朝に開いて夜に閉じることを繰り返す。剪定しないで、自然樹形を楽しみたい。小さい軽やかな葉、淡い色の花、水平に大きく広がる枝と、さわやかな夏の緑陰となる。

梅雨の時期、雨に濡れた花は、美人のまつ毛が濡れたような趣がある。

「象潟や雨に西施がねぶの花」(松尾芭蕉)



5月17日～6月18日(土日を除く) 管理棟

パクパク・サロンへお越し下さい

未就園児を持つお母さんたちの有志が主体となつて、市民交流のサロンを企画、開催しています。みなさんお立ち寄りの際は、是非、ご意見カードに、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。



管理棟前広場で落書き



クローバーの花冠づくり



古河市社会福祉協議会の生き甲斐活動と連携してコンニャク健康法を開催



スタッフのちゃぶ台会議



救命講座では、チビッ子を同伴できないので、虹の会に協力いただいて、参加者のチビッ子の面倒を見てもらいました

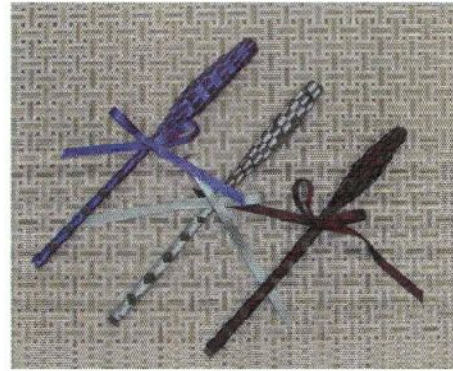


水辺のバイオリンコンサート



消防署と連携して、小児の救急救命医療講座を開催

参加者募集! ラベンダー・スティック教室



総合公園のラベンダーをつんで、リボンで巻いて、さわやかな香りのするスティックづくり。

日時/6月24日(木) 10:00~12:00

場所/古河総合公園管理棟

募集/20人 参加費/ひとり100円

問合・受付/0280(47)1129 総合公園管理棟

備考/ハサミ持参

主催/古河香り友の会、(財)古河市民公社

開催のお知らせ

第6回古河総合公園づくり円卓会議

日時/6月23日(水) 13:30~16:00

場所/総合公園管理棟

※市民の聴衆は自由です。聴衆希望の方は、事前にご連絡下さい。0280-47-1129 (パークマスターまで)

パークマスターの独り言

古河市民の健康を願って作られた福祉の森。自動車を運転しない市民と福祉の森を結ぶ手段として“ぐるりん号”の運行がスタート。今では、自動車を運転しない市民にとって市内を移動するために欠かせない足です。

ぐるりん号は、総合公園の管理棟近くには停車しません。管理棟近くに“ぐるりん号”の停留所を設けてはいいでしょうか。

福祉の森に寄った帰りには、総合公園を散策して健康づくりといった可能性も広がります。また、自動車を運転しない市民が総合公園に来るための手段としても、大いに活用されるのでは、ないでしょうか。

俳句の選考結果を発表!

平成十五年 公園道遙吟句

応募期間 平成十五年五月~平成十六年二月
選考協力 古河市俳句協会
(片野十四子、蓮田双川、武澤林子、大澤とみ子、梶脩三、本橋人男、武井香代)

応募総数 四三句

■秀作(三句)

あぢさるや口の集まる鯉の池
葉脈の息づく畦や古代蓮
父と子の草櫛遊び日脚伸ぶ

飯塚寿江、埼玉県北葛飾郡
長瀬道子、茨城県取手市
中村千代子、古河市

■佳作(十句)

いち早く色なびかせて柳の芽
青空を引き寄せ桃の花の丘
腹池やコントラバスの牛蛙
野火細る一番星のかがやきに
はすの花きれいですこいいいりるだ

藤巻淳子、群馬県高崎市
藤巻淳子、群馬県高崎市
中村千代子、古河市
阿久津勝利、栃木県宇都宮市
大宮未咲、七歳、埼玉県加須市

平成十六年 春の俳句大会

応募期間 平成十六年三月~平成十六年四月
選考協力 古河市俳句協会
(片野十四子、蓮田双川、武澤林子、大澤とみ子、梶脩三、本橋人男、武井香代)

応募総数 一七三句

■秀作(四句)

梁太く春灯ともる民家園
若芝にしかと打ち込む野立傘
貸し出しの車椅子あり桃まつり
桃咲くやけふ逢う人の皆やさし

吉田恵、福島県伊達郡
岩崎崇典、埼玉県春日部市
宮本チエ、埼玉県北葛飾郡
藤倉艸男、埼玉県羽生市

■佳作(十句)

旅なれや沼隅の蟻つまみあて
御所沼に抱かれ芽吹きの雑木山
きのふより今日空青し桃の花
花よりややの見える桃の花
桃の雨の色濃くなりにつけり
眠いとき眠るくらしや桃の花
桃の里客を呼ぶ声佃煮屋
朽舟に花大根の花さかり
春寒や野点の湯気の乱れたる
新緑やくじゃくの羽は虹の色

石川さだ子、福島県郡山市
浜名保、埼玉県北葛飾郡
蓮見純子、埼玉県加須市
鈴木哲也、埼玉県春日部市
辻梓淵、東京都台東区
すさ総子、埼玉県草加市
櫻井孝子、埼玉県吉川市
田崎まつ、茨城県鹿嶋郡
杉本一葉、茨城県鹿嶋郡
小俣有未、十三歳、栃木県下都賀郡

※次回の開函は来年二月末日。みなさんも、散策がてら一句ひねってみませんか。